

白神山地世界自然遺産登録20周年記念シンポジウム

白神山地を学びなおす

I部 全体セッション

9:00~12:00

白神山地の自然とこれまでの利用、世界自然遺産登録にいたる経緯と遺産登録以降の同山地での調査・モニタリングを概観します。さらに、国内各地の世界自然遺産、ないしはそれに準ずる質の地域の現況と取り組みも学ぶことによって、白神山地における課題を明確にします。

世界自然遺産登録以前の白神山地

自然環境や伝統的資源利用、世界自然遺産登録に至る経緯

弘前大学名誉教授 牧田 肇

世界自然遺産登録後の白神山地

登録根拠、各種調査の進捗、管理・モニタリング計画

東北大学大学院生命科学研究所教授、白神山地世界自然遺産科学委員会委員長 中静 透

知床からの報告

知床世界自然遺産の概要と特徴、モニタリング体制、野生動物の保護管理

斜里町立知床博物館館長 山中正実

屋久島からの報告

屋久島世界自然遺産の概要と特徴、観光客のインパクト、野生動物の保護管理

屋久島町商工観光課長 松本 薫

四万十からの報告

流域全体を視野に入れた地域の取り組みの特徴、行政の役割

公益財団法人四万十川財団事務局長 神田 修

II部 分科会

13:30~15:30

全体セッションで明らかにした重要な課題に関してさらに事例報告を行い、白神の特徴と課題について議論を深めます。

白神の今後の変動とモニタリング体制

大きな変動が予測される白神において、世界自然遺産としての管理、およびその価値を維持するために必要なモニタリングが何かを考えます。

シカや外来生物との軋轢の将来と対策

日本各地の現況を踏まえて、今後の白神の生態系への影響の大きい要因が何かについて認識を深め、その対策を議論します。

保全と自然利用のあり方

白神山地世界自然遺産の価値を認識し、環境教育に焦点を当てながら保全と地域の発展を両立する方法を考えます。

III部 総合討論

15:45~17:00

全体セッションと分科会での議論をもとに、白神の特性に立脚しつつ、今後に必要な取り組みへの提言を行います。

展示コーナー

9:00~17:00

シンポジウム会場に、白神山地に関連する写真、研究・活動紹介のポスター等を展示し、普及啓発を行うスペースを併設します。

■ ポスター発表 ■ 活動紹介、各種標本 ■ 白神写真展 ■ 特産物、特産品

上記の各展示では、学内外の参加者を募集します。こちらの問い合わせは
弘前大学白神研究会（赤田：akada@cc.hirosaki-u.ac.jp 本多：honda@cc.hirosaki-u.ac.jp）までお願いします。